

介護現場の安全 + SAFE通信



2023.10

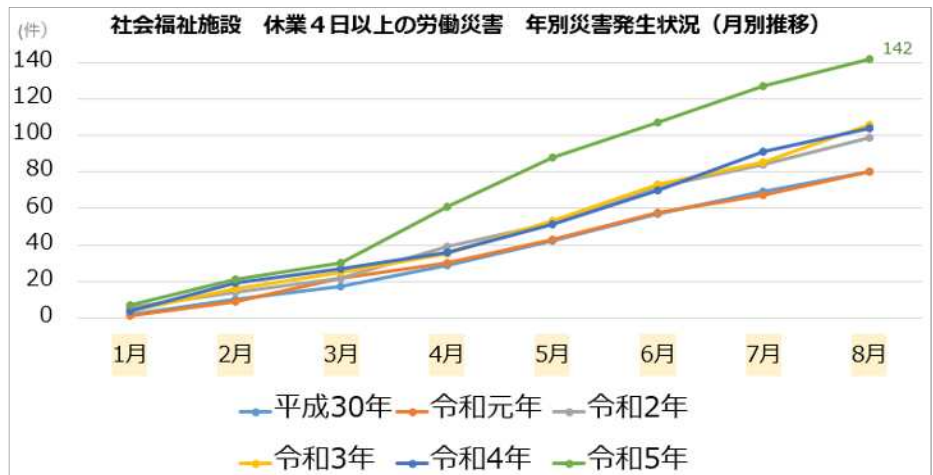
岡山県の介護従事者の労働災害を減らすため
職場の安全 & 健康な情報をタイムリーにお届けします

社会福祉施設における 労働災害発生件数が過去最悪のペースで推移

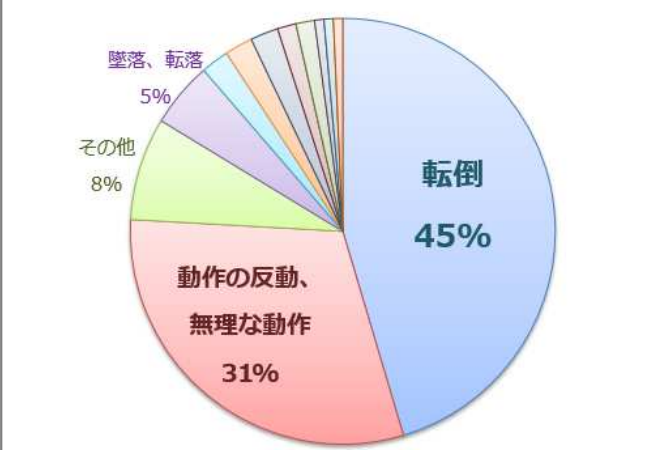
令和5年8月末現在、岡山県内における社会福祉施設で発生している休業4日以上の労働災害（新型コロナウイルス感染症によるものを除く）は142件となっています。

これは同業種における過去最多件数となった令和4年の同時期と比較して38件も増加しており、本年の労働災害発生状況は過去最悪のペースと言わざるを得ない状況になっています。

社会福祉施設における労働災害の著しい増加の原因は明確ではありませんが、コロナ禍に控えていた季節的なイベント等が通常通り開催されるようになったこと及び人との接触が増えたことによる業務量の増加等が考えられます。また、慢性化している深刻な人手不足で経験の浅い労働者が増加していることも考えられます。



令和5年 社会福祉施設 事故の型別労働災害発生状況



令和5年8月末現在の社会福祉施設における労働災害（142件）を事故の型別でみてみると、「転倒」が45%と半数近くを占め、腰痛など「動作の反動・無理な動作」の31%と合わせると、いわゆる行動災害のみで76%を占めています。

社会福祉施設において、介護従事者の腰痛対策については比較的意識が高いのですが、転倒災害の防止についても急務です。



岡山県の介護現場の労働災害の減少を推進する 岡山 + SAFE協議会 構成員

【リーディングカンパニー】(福)天神会、(福)敬友会、(福)旭川荘

【関係団体】(公財)介護労働安定センター・岡山県社会福祉法人経営者協議会・岡山県老人福祉施設協議会・岡山県障害福祉施設等協議会・岡山県訪問介護事業所連絡協議会・(一社)岡山県通所介護事業所協議会・(公社)日本認知症グループホーム協会・(一社)岡山県老人保健施設協会・(一社)日本福祉用具供給協会・(一社)岡山県介護支援専門員協会・(一社)岡山県労働基準協会・(独)労働者健康安全機構岡山産業保健総合支援センター

【スペシャルアドバイザー】JFEスチール株式会社西日本製鉄所（倉敷地区）・（一社）岡山県理学療法士会

【サポーターカンパニー】アイ・ソネックス(株)・(株)ウェルパートナーズ・ダイヤ工業(株)・日進ゴム(株)・(株)丸五

【地方自治体】岡山県

【事務局】厚生労働省岡山労働局（ご意見・ご要望は 岡山市北区下石井1-4-1（健康安全課 086-225-2013）まで）

みなさんに補助金をどんどん活用してもらいたい！

補助金を上手に活用してノーリフトケア等を推進しましょう



人材確保等支援助成金

介護福祉機器助成コースのご案内



人材確保等支援助成金は、魅力ある職場づくりのために労働環境の向上等を図る事業主や事業協同組合等に対して助成します。魅力ある雇用創出を図ることにより、人材の確保・定着を目的としています。

人材確保等支援助成金は複数のコースがありますが、「介護福祉機器助成コース」は介護事業主向けの助成金で、労働者の身体的負担を軽減するため新たな介護福祉機器の導入等を通じて従業員の離職率の低下に取り組む介護事業主に対して助成します。

【助成金額】

目標達成助成：導入費用20%
(賃金要件を満たした場合は35%)

【助成上限金額】150万円

支給のための要件

計画を作成し、労働局長の認定を受けること
認定された導入・運用計画に基づき機器を導入し、介護労働者の雇用管理改善に努めること
雇用管理責任者を選任していること
離職率を目標値以上に低下させること
離職率が30%以下となること

助成金の対象事業主

雇用保険の適用事業の事業主であること
介護事業主であること
過去3年以内に介護福祉機器の助成金の支給決定歴がないこと
過去に設備改善等支援コースを受給している事業主で、同一の機器に係る導入・運用計画書を提出する事業主でないこと
国又は地方公共団体等からの補助金等を受けていないことを確認するため、国又は地方公共団体等への照会及び国又は地方公共団体等からの照会に応じることに同意する事業主であること
離職率の目標を達成すること
離職者がいる場合、一定の条件を満たすこと

助成金の対象となる機器は？

介護労働者が使用することにより、直接的に身体的負担の軽減を図ることができ、労働環境の改善が見込まれるなど、所定の要件を満たすもので1品10万円以上であることが必要となります。

▶ 移動・昇降用リフト

立位補助器、非装着型移乗介助機器を含む。
人の移乗又は移乗に使用するものに限る。

▶ 装着型移乗介助機器

▶ 体位変換支援機器

エアマット、ベッドのうち、体位変換機能を有するものに限る。

▶ 特殊浴槽

移動・昇降用リフトと一体化しているもの、
移動・昇降用リフトが取り付け可能なもの又は側面が開閉可能なもの等。

詳細については
厚生労働省HP
をご確認ください



申請先・問い合わせ先
岡山労働局 職業安定部職業対策課(助成金事務室)

岡山市北区桑田町18-28 明治安田生命岡山桑田町ビル6F

電話：086-238-5301

受付時間：8：30～17：15(土日祝休み)



10月1日より 最低賃金が大幅にUPしています

必ずチェック！最低賃金！使用者も労働者も



岡山県最低賃金（時間額）

892円 前年比40円UP **932円**

地域別最低賃金は、岡山県内で働く全ての労働者に適用されます。

確認しよう、最低賃金！

事業者も、
労働者も、
お互いに。

会社員、パート、
アルバイトの方、
学生さんなど
働くすべての人と
雇う人のためのルールです。

岡山県 最低賃金

令和5年
10月1日から
適用

932円

前年比
40円UP

最低賃金とは、働くすべての人に賃金の最低額を保障する制度です。

最低賃金に関する特設サイト

「最低賃金制度」は、働くすべての人に、賃金の最低額（最低賃金額）を保障する制度のことです！

確認の方法は？ 確認したい賃金を時間額にして、最低賃金額（時間額）と比較してみましょう！

最低賃金額との比較方法

1 時給の場合	時給 × 1時間 = 最低賃金額
2 日給の場合	時給 × 時間 × 日数 = 最低賃金額
3 月給の場合	時給 × 時間 × 日数 × 月数 = 最低賃金額
4 上記1、2、3が組み合わさっている場合	時給 × 時間 × 日数 × 月数 + 日給 × 日数 + 月給 = 最低賃金額

使用者も、労働者も、必ず確認。最低賃金。

中小企業事業者の皆さんへ

賃金引上げを支援する助成金を積極的に活用しましょう。

業務改善助成金

0120-366-440

「業務改善助成金」とは

賃金引上げを支援する助成金を積極的に活用しましょう。

業務改善助成金

0120-366-440

最低賃金制度について



リーフレットダウンロード

最低賃金制度に関する
お問い合わせ先

岡山労働局 賃金室
086-225-2014

業務改善助成金をうまく活用して設備投資 & 生産性を向上！

令和5年度 業務改善助成金のご案内

賃金UP・設備投資等・生産性向上に資する助成金

助成対象事業

賃金引上げ

設備投資

生産性向上

業種	1人	2-3人	4-9人	10人	10人以上
30万円	20	30	35	300	330
45万円	25	35	40	350	380
60万円	30	40	45	400	430
75万円	35	45	50	450	480

賃金UP・設備投資・生産性向上

設備投資・生産性向上

業務改善助成金

活用

過去10年間の岡山県内

導入事例

岡山労働局

0120-366-440

業務改善助成金は、事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）を引き上げ、設備投資等を行った中小企業・小規模事業者等に、その費用の一部を助成する制度です。

介護・障害福祉施設においては、過去に福祉車両・介護ベッド・介護リフトなどの活用事例があります。

業務改善助成金に関するお問い合わせ先

岡山労働局 雇用環境・均等室
086-224-7639

詳細については岡山労働局HPよりリーフレットをダウンロードしてご確認ください



労働災害防止対策（特に腰痛対策）に取り組んでいる事業場を参考にして、良い取組をどんどん取り入れよう！

事業場（好事例）のご紹介

～持ち上げない介護への挑戦～

社会福祉法人 敬友会

岡山県岡山市藤田578番地3

敬友会は、現場で働く職員が、法人の宝と考えます。全職員とその家族が幸せで、心身ともに健康であり、安心して仕事ができる職場環境を醸成することが、利用者の穏やかな生活に直結します。

また地域の人が集い働く空間・環境・場づくりを通じて社会に貢献してまいります。敬友会は、経営者が率先して健康課題を把握し、健康維持・増進活動への積極的な支援と組織的な健康づくりを推進することを宣言します。

腰痛対策のポイント

当法人は労働者の健康の保持及び利用者へのサービス向上を目的として、2013年より「持ち上げない介護への挑戦！！」を推進しています。

それらを推進する上で重要となってくるのが、「教育」「用具」「展開」と考えています。



腰痛対策のポイント ～教育～

教育は1度だけ行うのではなく、定期かつ継続的に行うことにより、各人の能力向上に大きくつながってきます。

- (教育例) ▶ 入社時研修
- ▶ 3ヵ月研修
- ▶ 6ヵ月研修
- ▶ 未経験ブランク者向け研修



腰痛対策のポイント ～教育～

新人教育においては「持ち上げない介護」を徹底的に学んでいただきます。

初めて介護をする方も介護業務に慣れている方もあらためて、皆さんに研修を受講していただきます。



新人実技研修2022

持ち上げない介護
～自然な動きを覚えよう～
社会福祉法人 敬友会

持ち上げない介護研修の目的

人の身体の仕組みを理解し、自然な人の動きを意識し、それを介助に生かすことで

- ①介護者の腰痛等を予防する
- ②ご利用者の能力を維持する（専門性の向上）

腰痛対策のポイント ～教育～

業務に慣れた頃に再度集合研修を行います。実務で研修で学んだことが活かすことが出来ているかを再確認します。



臥位姿勢を替える事の重要性

- ▶ 変える順序を知って、広く重さの分散する
- ▶ まっすぐな姿勢に替えること

変える場所をしっかり重さがかかっている状態で初めて動く場所が動かせられる状態になる。
(初めは足・姿勢保持に絞る)

ベッド上で身体を横移動する時にどこに手を挿入するのか？

- ▶ 重さが乗っている箇所を動かす！
「頸・背中・臀部・大腿部・ふくらはぎ・足の裏」

※図がある場合はしっかりと自分の身体の手を入れて介助のやり方を覚えて動かす！

労働災害防止対策（特に腰痛対策）に取り組んでいる事業場を参考にして、良い取組をどんどん取り入れよう！

事業場（好事例）のご紹介

腰痛対策のポイント ～用具～

腰痛予防を目的とした様々な福祉用具を導入しています。いつでも直ぐに利用できるように用具は整理整頓し置いています。

写真の例は走行リフト、スライディングボードです。



腰痛対策のポイント ～大型リフト～



天井走行リフトも導入しています。腰痛予防の効果も、もちろんですが、ソーシャルワーカーさんやケアマネジャーさんから「大柄な入居希望者や身体が不自由な方でも走行リフトを導入しているので安心して入居案内ができる」と評判です。



腰痛対策のポイント ～最新のロボット～



用具に関しては、最新の介護ロボットを含めて何度もデモを行っていただき、現場の職員が本当に使いやすく、日常業務で継続的に利用できる良い用具を選定・導入しています。

腰痛対策のポイント ～展開～

敬友会では事業所間の交流ならびに会議技術における意見交換を目的としたイベントを、年に一度開催しています。

過去には症例発表会、介護技術を援助項目ごとに競い合うケアコンテストなどを通して介護技術を法人内で横展開しております。

